**KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow**-国際交流基金派遣とは

北米地域との青少年交流（米国事業） 短期派遣事業（中・高校生）

■目的：標記事業は、日本経済の再生に向けて、青少年交流を通じて、我が国の強みや魅力等の日本ブランドや日本的な「価値」に関する理解と関心を深めるために、日本政府（外務省）により進められている事業です。原則として、全国から選抜された中・高校生が米国において日本の魅力等についての情報を発信し、国際的な視野を持った次世代の人材として成長するための経験を培うことを目的としています。

■ 派遣期間・時期

（１）派遣期間：14日間（往復の旅行期間含む）（２）派遣時期：平成27年3月17日（火）～30日（月）■ 派遣対象国 米国 　■ 募集単位 1グループ　１２名　■ プログラム内容・標準日程案 原則9泊10日の滞在中、オリエンテーション、日本および地域の強み・魅力についてプレゼンテーション、学校交流（1～3日）×3か所（ワシントン州、フィラデルフィア州、カリフォルニア州）、ホームステイ（2泊3日PA ピッツバーグ近郊シェラー高校学区）、関連機関表敬、歴史・観光・自然の名所訪問、報告会レセプション（シアトル総領事主催）等を実施。

**要は学校交流（現地生徒との交流）と日本についてのプレゼンをすれば、無料で本校の生徒が１２名アメリカに１０日間の「研修旅行」に行けるということです。**

**全国から２０校程度240人の高校生が参加する国際交流の「全国大会＝甲子園大会」のようなものである。国際交流基金が全額負担＝タダより怖いものは無いが、、、、３学期の３月１８日に東京で事前オリエンテーションから始まり、帰国が３月２９日の日曜日。**

**積極的で活動的な生徒が参加してほしいとのことから、歌って踊れる、芸のある「杉総生」で行き以下の様な事を実施しました。**

**まず加者全体６名程度から成るグループを構成。1グループ当たり15分のプレゼンテーション、参加生徒全員で “日本の魅力（COOL JAPAN）”をキーワードに準備した。**

**日本の魅力の具体例：地域の文化・歴史・自然・地場産業・日本食・祭り・ゆるキャラなど、世界に向けてアピールしたい地域の魅力を高校生の目線から発掘し、発信する。また、これ以外にも日本の高校生の日常生活や、日本が誇る文化や産業として、アニメ、Ｊ－ＰＯＰ，かわいい文化、各種伝統芸能、武道、日本の製品・サービス、日本人の勤勉さ・きめ細かさ、価値観、治安の良さ等を含めた。**

**“日本の魅力（COOL JAPAN）”をテーマにした全体のプレゼンテーション構成を考えた。プレゼンテーションに加えて、本校が実施してきた国際交流の経験を受けて、本校生徒の通学風景、学校生活、クラブ活動、家庭での生活などをスライドで紹介することで「リアルな日本」を紹介するような企画を検討しました。具体例として本校の年間行事：合唱、伝統舞踊、和太鼓・三味線、生け花、和装、Jpop、授業風景、食事、クラブ活動、などをアメリカのヒット曲「Happy」にのせて動画を作成しました。**

**また、「総合学科」である本校の特色を考えながら、普通の「都立の高校生」の目線から「東京の魅力」を発掘し、発信することを目指して企画を立てました。**

**多芸に秀でた本校の生徒であることからも“芸能「杉総組」”というコンセプトでいきました。**

**また、上記の内容の動画と組み合わせて下記のような部分に配慮しながらプレゼンテーション：PPXを作成しました。**

**１．パワーポイントPPX：スライドは、各グループの持ち時間（１５分程度）を考慮し作成。**

**２．スライドの中身は、日常の生活、学校の状況、リアルな「杉総生の生活」を反映させ、デジタルデータで映像、音声、動画、図、グラフ、写真等視覚に訴えるものをふんだんに盛り込んだものを作成しました。また、これらは事前にYoutube にアップロードしておきました。**

**３．これに本校は実際に生け花と日舞＝和装の実演と生徒による手品を組み込みました。**

**４．真面目すぎる内容や、いくらためになる物（文化的に高尚である？）であるとしても難しいプレゼンテーションよりは「明るく・楽しく」を徹底した結果、現地の交流校では大好評でした。**

**５．貴重な１０代での経験を次の人生に活かすためにも、またそれを社会に還元する意味でも大学進学等への影響は大きく変化しました。また、参加の内日本の国内での芸能界（音楽）でのデビュー、海外での音楽修行、文部省のプログラムに参加、校内での国際交流活動の中心的な役割を担うなど活動しています。**

**また、現地交流校の授業にも参加し『アメリカの高校生ライフ』を経験、ホームステイなども含め訪問先の地域性（人種構成、宗教、経済力等）を皮膚感覚的にも理解することになり、更にこの経験を本校文化祭等で報告会を実施しました。**

**東京都立杉並総合高校　引率者・教務部国際担当教諭：藤野明彦**